

第8回戦術委員会確認事項

2022年4月18日
全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日10時より第8回戦術委員会を開催し、回答状況の把握を行うとともに、JC共闘の今後の進め方を確認した。

1. 現段階の回答引き出しの進捗状況は、ほぼ例年通りとなっている。また、賃上げ獲得組合の割合はコロナ禍前の状況に回復し、賃上げ額の平均は、2014年以降では、過年度物価上昇率の高かった2015年を除けば、最も高い賃上げ額となっている。規模別では、300人未満の組合は、6年連続で1,000人以上の組合を上回り、2014年以降で最も高い賃上げ額となっている。

今後回答を引き出す組合は、こうした状況を踏まえ、さらに底上げ・格差是正を実現する賃上げを獲得することとする。

また、特定最低賃金の引き上げ・新設につながる企業内最低賃金協定の締結拡大・水準引き上げ、非正規雇用で働く労働者の賃金・労働諸条件の改善や、働き方の見直しに関する協議を重ねていく。

各組合は、産別指導の下、精力的に交渉を展開し、速やかに決着を図ることとする。金属労協は、引き続き共闘体制を維持し、JC共闘全体で支えていく。

2. 第9回戦術委員会は、5月26日に開催する。4月下旬段階の金属労協全体の闘争状況については、月内に公表する。

以上